

# 1月の園だより

## 《園長の言葉》

平成 29 年度 竜光保育園 第 631 号

子どもたちの元気な声や挨拶と共に、新しい年がスタートしました。今年度も残り少しとなりましたが、子どもたちに心身ともに寄り添いながら、日々の保育を大切に努めて行きたいと思えます。

さて、国から保育所保育のガイドラインとして作成されている《保育所保育指針》が昨年改定され、平成 30 年 4 月 1 日より適用される事となりました。その中の重要項目に【非認知的能力】について述べられている箇所があります。非認知的能力とは具体的に、目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力、感情をコントロールする力等を指します。昨年度の園だよりで述べました《EQ(こころの知能指数)》もこの一部だと言えるでしょう。依然として、知的(早期)教育礼賛の風潮も根強いですが、近年の研究では、幼児期の知的教育による効果は一時的にしか過ぎず、長続きしないことが明らかになりつつあります。小学校に入り最初は他の子どもを学力面で大きくリードしますが、学年が上がるにつれて差が見られなくなるケースが多いそうです。幼児期においては、知的教育も大切ですが、この非認知能力こそが重要であり、その能力を意図的に伸ばすことも可能だそうです。その能力を大きく伸ばしていく場こそが、先日の生活発表会や運動会のような場であり、その本番に至るまでのプロセスです。例えば、発表会の劇中や遊戯の最中に子どもが台詞や踊りを忘れた場合、保育士の助けなくして周囲の子どもたちが手助けをして乗り越えていく場面があります。その瞬間こそが非認知能力が培われていった瞬間であると言えますし、それにより劇や遊戯に一味違った面白みが出てくる場合もあります。そしてその後の保育士の「みんなで手助けがよくできたね」等の言葉かけにより、その能力は一層育まれていくはずで。私たちは今、目に見えるもの即ちその時点での成果に、信頼や安心を求めがちになりますが、要所で子どもたちに目標を設定させ、絶えずポジティブな言葉かけを続けることで、少しずつですが確実にその能力は育まれ、何れは成長の過程において最も大切なことだとも言えるコミュニケーション力をはじめとする社会性を高めることとなるのではないのでしょうか。

年末から少しずつ発生していたインフルエンザやノロウイルスなどの感染症が、一気に広がっていく恐れもあるこの時期です。徹底した手洗いやうがい、外出時のマスク等、ご家庭でも予防対策をお願い致します。

## 1月の行事予定

- 4日(木) 始園
- 9日(火) 体操教室
- 15日(月) 身体測定
- 19日(金) かるた会(新道寺小1年生来園)
- 23日(火) 体操教室
- 24日(水) 誕生会  
中旬 避難訓練
- ☆2/17(土) 保育参観・作品展・講演会を  
予定しています。

二階からの避難用滑り台を使っての避難訓練



避難訓練&防火訓練



ビーナッツの収穫



《お餅つき会》には、多くの保護者の皆様にご協力(特にお父さん方大奮闘!)頂きました。有難うございます。



## 《先生の広場》 vol.9 かがわ いつこ 先生



- ☆Q.1 好きな食べ物は?  
A. 甘い物(特にケーキ)が大好きで、コーヒーを飲みながら食べるのが好きです。
- ☆Q.2 趣味は?  
A. ピアノを弾くこと。折り紙や布を使って手作りの作品を作る事です。
- ☆Q.3 保育士になって良かったと思う事は?  
A. いつも子どもたちの笑顔に癒され、日々の成長を共に喜び合える事です。

## 12月のお誕生日会の様子

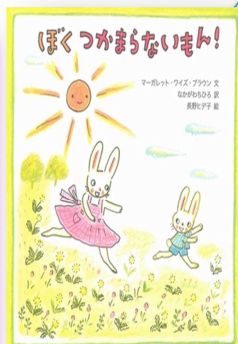


## おすすめ絵本のコーナー

### 『オニのサラリーマン』

文：富安 陽子 絵：大島 妙子 出版社：福音館書店

“コテコテ”の関西弁を話すサラリーマンのオニの1日を描いた絵本です。「会社員のあるある」が随所にちりばめられ、コミカルでテンポの良い作品です。あの芥川龍之介の『蜘蛛の糸』を思わせるシーンもあり、大人もいっしょに楽しめること間違いなしです。



### 『ぼくつかまらないもん!』

文：マーガレット・ワイズ・ブラウン 訳：なかがわ ちひろ  
絵：長野 ヒデ子 出版社：あすなろ書房

『たいせつなこと』等でおなじみの米国の絵本作家M. W. ブラウンの半世紀以上前の絵本がリニューアルされ、親しみやすい作品となっています。突然のうさぎの坊やの“家出”宣言から始まるおかあさんとの会話のやりとり。その中にとっても温かいものを感じます。思わず子どもたちを“グツ”と抱きしめたくくなります。

A HAPPY NEW YEAR

